

日本青少年訪韓団（第3団）（派遣プログラム）の記録 （対象国：韓国，テーマ：日本の魅力発信及び日韓相互理解）

1. プログラム概要

日本の青少年（高校生等70名）が韓国を訪問し、学校訪問、韓国文化体験、歴史的建造物視察等を通して韓国への理解を深めると共に、各訪問先では人的交流を通じて日本の魅力の発信をする等、日韓の相互理解と信頼関係の増進に寄与することを目的として活動しました。

一行はソウル近郊において日韓文化比較に関する講義を聴講し、学校訪問及び教育現場視察とホームステイを通して、同世代との意見交換・交流会を実施しました。ソウル市内では、文化体験や視察を行い、韓国への理解を深めました。一行は、プログラム中、DMZ視察を通じた朝鮮半島における南北問題や訪問地域の様々な文化に強い関心を示し、各々の関心事と共に、日本の魅力（文化・国民性等）についてSNSを通して対外発信を行いました。

また、帰国前の成果報告の場では、訪韓経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について各人が発表しました。

【訪問地】

韓国ソウル特別市、京畿道（城南市、河南市、坡州市）

2. 日程

11月4日（日）仁川国際空港から入国

11月5日（月）

【表敬】国立国際教育院，【講義】「日本人が体験した韓国・韓国文化（文化比較）」，

【視察】ソウル市内（ソウルNタワー）

11月6日（火）

【学校訪問・交流】河南高等学校（交流会及び共同授業・意見交換），ホームステイ

11月7日（水）

【交流】河南高等学校のクラスで一般の授業を体験

【表敬・講義】在韓日本大使館 公報文化院，「最近の日韓関係について」，

【交流】漢城大学学生とソウル市内フィールドワーク，【文化体験】NANTA公演鑑賞

11月8日（木）

【視察】ソウル市内（サムスンディライト，景福宮，国立民俗博物館），

【文化体験】韓服試着

11月9日（金）

【視察】DMZ（非武装地帯）エリア（第3トンネル，都羅展望台，都羅駅，臨津閣），

【交流】漢城大学学生と意見交換会，成果報告会

11月10日（土）

出国（仁川国際空港）

3. プログラム記録写真

（訪問地：ソウル特別市，京畿道）



11月5日【講義】日本人が体験した韓国・韓国文化（文化比較）（京畿道城南市）



11月6日【学校訪問・交流】河南高等学校で北海道の魅力を発信（京畿道河南市）



11月6日【学校訪問・交流】河南高等学校で北海道の伝統舞踊を披露・魅力発信（京畿道河南市）



11月6日【学校訪問・交流】河南高等学校で日韓同世代意見交換（京畿道河南市）



11月7日【学校訪問・交流】河南高等学校で一般の授業に参加（京畿道河南市）



11月7日【表敬・講義】在韓日本大使館 広報文化院，「最近の日韓関係について」（ソウル特別市）

	
<p>11月8日【視察】サムスンディライト (ソウル特別市)</p>	<p>11月8日【視察・文化体験】景福宮視察、 韓服試着体験 (ソウル特別市)</p>
	
<p>11月8日【視察】DMZ (非武装地帯) エリア、 都羅展望台より北朝鮮を望む (京畿道坡州市)</p>	<p>11月8日【視察】DMZ (非武装地帯) エリア、 資料館にて南北分断の歴史を学ぶ (京畿道坡州市)</p>
	
<p>11月8日【視察】DMZ (非武装地帯) エリア、 第3トンネル入り口前にて (京畿道坡州市)</p>	<p>11月9日【交流】漢城大学学生と意見交換 会 (ソウル特別市)</p>

4. 参加者の感想 (抜粋)

◆ 日本 高校生

・今回の訪韓は大きな学びとなった。やはりその国を正しく理解するためには、学校で学ぶ知識やテレビや新聞、ネットの情報では限界があり、ありのままの真実の姿まで見ることはできない。今回の訪韓で韓国の同世代の仲間と交流することにより、私たちは

互いの国に対し、あまりにも多くの誤解や偏見があると理解できた。話に聞いたことやネットで調べたこと、ニュースで見たことはその事柄の一部であり、全てを理解するためには実際に自分の目で見るのが大切だと思った。また、私たち日韓の若者は、戦前の歴史についてはそれなりの知識があるものの、戦後の日韓交流史については互いにあまり知らないことに気が付いた。確かに戦前の歴史もだいじであるし、日本は忘れてはならないが、今の私たちにつながる戦後の日韓関係については日韓双方の若者がよく知らずにいるので、日韓両国がより近づくためには、戦前の歴史はもちろん戦後の日韓関係についてもしっかり学ぶべきだと思う。

・訪韓前は領土問題や歴史認識問題等、マスコミで日韓の摩擦ばかりを報道していたこともあり、その影響を受け日韓の良い面にあまり目を向けることができなかったが、今回の訪韓で多くの韓国の方々を通じて、日韓関係の印象が良い方向へ大きく変わり、マスコミにとらわれず日韓の良い面に積極的に目を向けていこうと思う。

・学校訪問時に舞台上に立って釧路の魅力を伝えたとき、みんなが大きく反応してくれ、「発表を見て釧路に行ってみたいと思えた」と話してくれた。ホームステイの家族も、私たちを案内してくれた通訳の方も、「札幌は行ったことあるけど、あなたのお話を聞いていたら釧路に行ってみたくなった」と言ってくれた。私は今回、数多くの韓国の方々に大変お世話になったので、是非ともそのお返しとして、クラウドファンディングで資金を集め、今回お世話になった韓国の皆さんを釧路に招きたい。

・日本の学校の授業で「韓国とはどのような国か」をみんなで討論したことがあったが、その時は韓国人に会った生徒はほとんど皆無で、韓国について知る手段は、マスコミやネットの情報ばかりで議論をしており、それがいかに無駄な時間であったかを痛感した。これではだめだと思う。日韓相互理解のためには、相手の国を正しく見るためには、互いに直接出会い、話し合いながら分かり合うことが重要だと思う。それこそ、学校教育の一環として全ての学校において、日韓同世代交流の機会を与えるぐらいのことをする必要があると思う。

・メディアでの印象と違って好意的・親日的、みな歓迎してくれた。大変ありがたかったが、それは今回の訪韓が日韓相互理解のためであり、韓国が大好きな日本人である私たちと、日本に理解のある韓国の皆さんとの交流であったからかもしれない。今度は、より「素」の韓国を肌で感じるためにも、韓国全土をバックパッカーとして周り、より深く韓国を感じ、学んでいきたいと思うようになった。今から準備したいと思う。

5. 受入れ側の感想

◆ 韓国側主催機関担当部長

・今回の訪韓を心より歓迎する。今回の経験をきっかけに韓国についてより深く理解をしていただき、未来志向的な思考に転じる契機にさせていただけるよう期待したい。そして、今回訪韓した若者の皆さんには、日韓共同発展のための役割を担う人材となって

いただき、未来に向けてどのようなことができるについても今から考えていただきたい。

◆ 受入れ大学機関担当者（訪韓団運営事務局）

・過去何回も国際交流事業を企画しており、日本との交流も何度も実施してきたが、今回の高校生ほど、真面目で、意欲的で、時間も守り、何と言っても韓国語を使おうとしてくれ、韓国を理解したいという熱意を感じた一行はなかったと思うくらい、素晴らしい高校生であった。最後の成果報告会を聞いていると、未来の日韓関係は明るいと思えるようなアクション・プランが多く、とても頼もしく感じた。何名か韓国に留学したいという生徒もいたが、是非お越しいただき、日韓の未来を担う人材へ成長してほしい。

◆ 訪問校校長

・10月に校長である私と今回の訪問事業担当教諭、そして本校の生徒が訪日した際には、日本の方々から多大なる歓迎を受けたので、少しでもその恩返しができるばと思ひ、我が校なりに一生懸命準備したがその思いが少しでも訪韓団の皆さんに伝わったら幸いである。今回は日韓高校生同士の交流会から始まり、給食、共同授業、ホームステイ、韓国の一般授業の参加などを実施したが、我が校生徒は日本人の友人ができたこと皆喜んでおり、末永く続く友情になることを心から願っている。日韓には不幸な歴史もあるが、未来を担う若者の世代は過去にあまりとらわれることなく、未来志向の良い交流を重ねて行っていただきたいと思っているし、私も生徒にはそのように指導している。日本の友人等とは良い交流を続けていきたいと思っているので、是非また訪問していただきたい。

◆ 講義講師

・私が若かった頃は、日本の方がずっと時代の先端を走っており、韓国は必死に追いつこうとしており、若者文化の流行やファッション等はほとんど日本から渡ってきたものであったが、それが今回訪韓した高校生と出会うことにより、いつのまにか、逆転現象が起こっていると改めて感じ、感慨深く感じた。今回訪韓した高校生の殆どが、韓国に憧れを持ち、一生懸命韓国語を学び、ハングルがカッコよく見え、K-POPを聴き、韓国風のメイクアップを真似る等、「韓国＝イケている」という印象があるようである。しかし、韓国での日流もまた然りである。政治的摩擦や歴史認識の問題があっても、若者はそれを乗り越えて、互いの文化を共有しようとする姿に日韓の明るい未来を感じた。このような交流事業は是非とももっと盛んに実施していただきたい。

◆ 受入大学大学生ボランティア

・日本の高校生がこんなにも韓国のことが大好きで、韓国文化にも親しみ、韓国語を使ってくれようとする姿に感動した。バスでの移動中やフィールドワークの時には、積極的に韓国語や韓国文化について質問してくるなど、韓国に大きな関心を持って真剣に理解しようとする姿は忘れられないだろう。みんな、私に感謝していると言ってくれたが、むしろ私こそみんなに感謝している。お別れのときは、私も思わず泣きそうになったが、きっとまた会う機会はあると信じているし、北海道にご縁ができたので、必ず北海道に行って、みんなに再会したい。

6. 参加者の対外発信

北海道の高校生70名の訪韓団3日目は河南高校での交流プログラムです。午前には開会セレモニーの開催。会場に着くと、合奏部の生演奏と共に高1高2全生徒500名が大きな歓声と拍手で大歓迎！いきなりの感動です！

河南高校校長先生からは「若い皆さんの世代は過去にとられすぎず、未来志向的な交流を」と呼びかけていただき、日本側団長からは「私は少女時代のダンスができる」と会場を盛り上げていただいた中、双方学生による発表が行われました。

韓国側は演奏に歌にダンスにと、様々披露していただき、日本側は北海道各地の魅力ほとんど韓国語で披露！よさこいソーランの躍りでフィナーレを飾りました。

北海道の皆さん韓国語の練習本当に頑張りました！韓国の皆さんとても驚いていましたし、あちらこちらから、本当に北海道行きたくなったとの声。通訳さんはその頑張りに感動して、涙流すくらいでした！



交流先での日本の魅力発信について

北海道の高校生 70 名の訪韓団 3 日目は河南高校での交流プログラムです。午前には開会セレモニーの開催。会場に着くと、合奏部の生演奏と共に高1高2全生徒500名が大きな歓声と拍手で大歓迎！いきなりの感動です！

河南高校校長先生からは「若い皆さんの世代は過去にとられすぎず、未来志向的な交流を」と呼びかけていただき、日本側団長からは「私は少女時代のダンスができる」と会場を盛り上げていただいた中、双方学生による発表が行われました。

韓国側は演奏に歌にダンスにと、様々披露していただき、日本側は北海道各地の魅力ほとんど韓国語で披露！よさこいソーランの躍りでフィナーレを飾りました。

北海道の皆さん韓国語の練習本当に頑張りました。韓国の皆さんとても驚いていましたし、あちらこちらから、本当に北海道行きたくなったとの声。通訳さんはその頑張りに感動して、涙流すくらいでした！

📍 ハナム高校訪問 📍

歓迎式では釧路湖陵をはじめ釧路の魅力を5つのパートに別れて紹介してきました！
1つ目は北海道釧路湖陵高校のこと
学祭の写真などを用いながら私たちの高校について紹介しました。
2つ目は釧路の自然のこと
日本最大の湿原であること、丹頂鶴の写真やイラストでわかりやすく伝え

、とてもいい反応をして頂きました😊😊

3つ目は釧路の夕日のこと
世界三大夕日と言われている釧路の夕日の写真を用いながら、何故釧路の夕日は綺麗なオレンジになるのか等を紹介しました！

4つ目は釧路の料理のこと
港町釧路ならではの勝手井や寿司を絵や写真を用い紹介しました。

特に好きな具材を選んで自分だけの海鮮丼を作ることが出来る勝手井を詳しく紹介し、釧路発祥のザンギにもふれました！

5つ目は釧路のお祭りについて
今回は港まつりと霧フェスについて紹介しました。大漁を祝う港まつりと釧路ならではの濃い霧の中で行われるレーザーショーの写真などを用いました



交流先での日本の魅力発信について

ハナム高校訪問の歓迎式で釧路の魅力を5つのパートに分けて紹介してきました！

1つ目は北海道釧路湖陵高校のこと
学祭の写真などを用いながら私たちの高校について紹介してきました。

2つ目は釧路の自然のこと
日本最大の湿原であること、丹頂鶴の写真やイラストでわかりやすく伝え、とてもいい反応をして頂きました。

3つ目は釧路の夕日のこと
世界三大夕日と言われている釧路の夕日の写真を用いて、何故釧路の夕日は綺麗なオレンジになるか等を紹介しました！

4つ目は釧路の料理のこと
港町釧路ならではの勝手井や寿司を絵や写真を用い、紹介しました。特に好きな具材を選んで自分だけの海鮮丼を作ることができる勝手井を詳しく紹介し、釧路発祥のザンギにもふれました！

5つ目は釧路のお祭りについて
今回は大漁を祝う港まつりと、釧路ならではの濃い霧の中で行われるレーザーショーの写真などを用いて霧フェスを紹介しました。

韓国にあった日本の技術

1枚目はホテルのエレベーターです。
三菱のエレベーターが使われていました。
2枚目はハンソン大学のエレベーターです。
ハンソン大学はFUJITECのエレベーターでした。
日本の技術をこんな所でも見ることが出来ました😊
エレベーターは日本製が多いのでしょうか……？



韓国にあった日本の技術に関する発信

1枚目はホテルのエレベーターです。
三菱のエレベーターが使われていました。
2枚目はハンソン大学のエレベーターです。
ハンソン大学はFUJITECのエレベーターでした。
日本の技術をこんなところでも見ることができました。
エレベーターは日本製が多いのでしょうか……。

🇰🇷 홈스테이 🇯🇵

처음은 긴장 너무 해서 어떻게 될까 했는데
막상 가면 진짜 진짜 재미있고 의미가 있는
시간이었어요. 우리가 들어가자마자 환영
식을 해주고 반응도 너무 좋아서 우리도 안
심해서 발표를 할 수 있었어요.
우리가 한국과 일본
좋은 관계를 만들어 가고싶어요!!!!



ホームステイに関する発信

最初はとても緊張してどうなるかと思って
いたけど、いざ行ってみると本当に楽しく意
味あるひとときでした。
私たちが学校に着くと早速歓迎式もしてく
ださり、反応もあまりにも良く、私たちも安
心して発表することができました。
私たちが韓国と日本の良い関係を作ってい
きたいです!!!

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



帰国前夜、一行は成果報告会を行った。成果報告会の中では、今回の日程における各種視察や交流、ホームステイを通じて得た成果の共有及び「日韓両国が更に近づくための方法」について議論した内容と共に、帰国後のアクション・プランについて発表した。

様々な内容が発表された中、多くは、「帰国後も SNS で発信する」「学校で訪韓団に関する活動報告会を行う」「交流した方々と SNS で連絡を取り合い、引き続き日本の魅力について知ってもらい、日本に招きたい」と異口同音に語り、今後の活動に期待を持てるような意欲的な内容が多々発表された。主な内容を紹介すると次の通りである。

- ・校内はもちろん、地域の交流イベントや近隣の小中学校で報告会を実施する予定を立てている。

- ・今回、数多くの韓国の方々に大変お世話になったので、そのお返しとして、クラウドファンディングで資金を集め、お世話になった韓国の皆さんを北海道に招き、日本と北海道の魅力を伝えたい。

- ・韓国について、日韓関係について正しく理解するためには、報道や書物だけの情報では真実が見えてこないことを伝えると共に、是非ともこのようなプログラムに参加したり、あるいは直接訪韓したり、身近な韓国の方々と交流しながら互いに交流していくことの大切さを訴えていきたい。

- ・今回の訪韓で出会った韓国の方々と SNS やメールを通して関係を維持し続け、日本にもっと興味を持ってもらえるよう情報も発信していき、是非日本にお越しいただき、その際にはご案内したい。

- ・今回の訪韓で学んだ韓国のことや日韓関係のことについて、これで全てを理解したような気分にならず、今後も新聞やニュースなどを積極的に広いながら、より肉付けして行ったり、更新して行ったりしていき、SNS 等で発信していきたい。

(了)